

春



年頭のあいさつ

下仁田町長

石井 康行

新年明けましておめでとうございます。

平成26年の新春を迎え、下仁田町の皆さんに謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様にはご家族お揃いで、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から町政運営に対し深いご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年の政治を展望すると、国政では本年4月から開始される消費税の増税があげられます。これは、少なからず日常生活に影響が出ます。増大する社会保障費と危機的な財政をふまえ、消費増税は避けて通れない道だということですが、増税によって、社会保障の持続可能性が高まり、その結果、国民、とりわけ若い世代が抱く将来への不安がやわらぎ、不透明感が解消されていくことに期待したいと思います。

町政全般については、本年も本町を取り巻く情勢は、相変わらず厳しいといわざるをえません。将来にわたって安定的な財政基盤を確立するため、効率の良い行政運営に努め、引き続き財政の引き締めを行ってまいります。

さて、本年の大きな行事に目を転じると、なんとと言っても「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録です。これまで積み上げてきた努力の成果が決する年です。6月にカタールで開かれるユネスコ世界遺産委員

会の審議結果に吉報を待ちたいと思います。

また、「ネギ」を中心とした食文化の祭典として「第5回全国ネギサミット」の開催地として本町が選出されました。全国のネギ産地から自慢のネギが集まり、消費拡大と宣伝を行うことで地域農業の活性化を目指します。

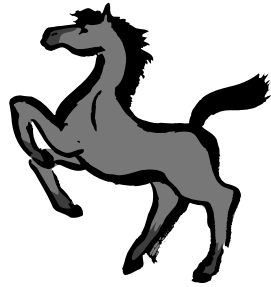
工夫を凝らしたイベントを企画し、県内外から多くの来場者を招く予定です。

町民生活においては、本年も町民ひとりひとりが明るく過ごす日常の源は、何よりも心身の健康であることを念頭に、各種の検診をはじめとする予防医療の充実、食生活あり方、ほどよい運動に目を向けて、町政を進めてまいります。

町民皆様の声に耳を傾け、子どもたちのからお年寄りまで、町民皆の笑顔が絶えない町であり、行政と町民が一体となった豊かで暮らしやすい町づくりを目指し、創意工夫を重ね町政を牽引する所存でございます。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

結びに、本年が町民皆様にとって、幸多き年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



平成26年

迎



下仁田町議会議長

佐藤公夫

町民の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい平成26年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

ここに希望あふれる新春を迎えるにあたり、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに昨年一年間、私ども議会にお寄せいただきました温かいご支援とご協力に対しまして、深く感謝と御礼を申し上げます。

顧みますと、一昨年の年末に、衆議院解散によって、安倍政権が誕生し、復興や円高対策、景気対策に全力を傾注していますが、今後、4月に予定されている消費税の増税やTPP交渉の行方も心配されます。景気についても、回復基調の兆しですが、今後の動向が気になるところです。

当町においては、昨年台風の襲来等がありました。幸いにも住民生活に甚大な影響を及ぼす大きな、自然災害等も少なく、安堵しているところです。しかし、景気低迷の長期化による町税減収は大きくなり、町財政に及ぼす影響も多大なものとなっております。

下仁田ねぎについては、全国的な知名度を生かして、本年晩秋には、全国ねぎサミットを誘致し地域の活性化に結び付けたいと考えており、全面的に協力するところがあります。

また、高齢化超少子社会の中、より充実した福祉政策が必要となるなかで、町財政の安定を図りこの苦境を乗り切るために、町当局も、一昨年4月から、機構改革を実行し課の統廃合等、経費削減に取り組んでいます。

どうか今年こそ、経済も回復基調となり、安定した生活を営める年となりますよう、皆様方とともに心から念じてやみません。

議会といたしましても、昨年の委員会構成替えを機に、心も新たに一致協力して執行機関ともども取り組んでいる行政改革を押し進めるとともに、自然と調和した活力のある町づくりのための予算運営を図り、町民生活の向上に寄与できますよう、創意工夫を重ね、皆様のご期待に沿うべく努力を惜しまない所存でありますので、力強いご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

